

令和7年度 事業計画書

(2025年4月1日～2026年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行う。また、活動に関わる諸テーマについて、独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関・個人との共同研究等も行う。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

- ・ 田中一光アーカイブの資料整理を進めるとともに、研究者等による利用促進を図る。
- ・ ポスターアーカイブは、寄贈の希望があった場合、アーカイブとして受け入れが妥当かを財団内で検討のうえ、寄贈を受け入れる。
- ・ ポスター高精細デジタル画像化は、将来的にアーカイブ全作品のデータ化を目標に継続的に進める。
- ・ コレクション・データベースの精緻化と利用促進を図る。

(1) 田中一光アーカイブ

田中一光アーカイブの資料整理を進めるとともに、研究者等による利用促進に資する施策を検討・実施する。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作の収集活動を継続する。寄贈受け入れ予定作家は、宇野亜喜良氏、木下勝弘氏等。

現在、国内126作家、海外120作家、計246作家、24,841作品を収蔵している。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

他美術館等からの要請に応じて作品貸出を行う。

(4) ポスター高精細デジタル画像化

ポスター作品の高精細デジタル画像化を継続する。

(5) 作品データベースの活用

文化資源デジタルアーカイブ化の動向を踏まえ、DNP文化振興財団コレクション・データベース <https://collection.dnpfcp.jp/> の資料記述内容の精緻化と利用促進をはかる。

2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行う。必要に応じて国内外機関、個人との共同企画を行い、また、展示施設の管理運営を行う。【定款 第4条 (2)、(6)】

下表の通り、ギンザ・グラフィック・ギャラリーは計7回、京都d d dギャラリーは、計5回の展覧会を開催する。

・ギンザ・グラフィック・ギャラリー展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第407回 TDC 2025	4/4 (金) ~5/17 (土)
第408回 アイデンティティシステム：1945年以降 西ドイツのリブランディング展	5/27 (火) ~7/5 (土)
特別展 JAGDA 新人賞×亀倉雄策賞展	7/15 (火) ~8/27 (水)
第409回 田部井美奈展	9/5 (金) ~ 10/22 (水)
第410回 日本のアートディレクション展2025	10/31 (金) ~ 11/29 (土)
第411回 中村至男展	12/9 (火) ~ 2026/1/31 (土)
第412回 ヤン・レニツァ展	2/12 (木) ~3/26 (木)

・京都d d dギャラリー展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第246回 書藝問道：ブックデザイナー 呂敬人の軌跡展	4/10 (木) ~6/4 (水)
第247回 モダン・エキスポ・ポスターズ：グラフィックでみる現代の万博展	6/13 (金) ~8/20 (水)
第248回 フェリックス・ベルトラン展	8/29 (金) ~10/29 (水)
第249回 台湾グラフィックデザインの現在展 (仮称)	11/6 (木) ~2026/1/12 (月)
第250回 梅原真展	1/20 (火) ~3/22 (日)

・インターネットでの情報発信の強化

財団公式ウェブサイトでの展覧会情報掲載に加えて、プレスリリース配信サービスや、SNSでの情報発信を継続し、展示事業の認知度向上、及び来場促進を図る。

3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物発行やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】グラフィックに関する知識・関心を一般の方々に広げることが目的に、講演会、対談、ワークショップ、図書等の刊行、インターネットを通じた情報提供を行う。

- ・ g g g B o o k s 3点を発行予定。アニュアルレポートは、8月に発行予定。g g g B o o k s は、電子書籍版の発行も継続する。
- ・ オンラインを活用した情報発信を継続する。
- ・ ギンザ・グラフィック・ギャラリー、京都d d dギャラリーにて、グラフィックデザインに関する子供向けワークショップを開催する。

・ 図書の刊行

展覧会と連動して、作品集『g g g B o o k s』3点（発行予定作家：田部井美奈、中村至男、ヤン・レニツァ）を発行する。

・ アニュアルレポート発行

『Graphic Art & Design Annual 2024』を8月に発行する。あわせて次年度刊行予定の2025年版の企画・編集を開始する。

・ ギャラリートーク

ギンザ・グラフィック・ギャラリー、京都d d dギャラリーにて、展覧会ごとに作家によるトークイベント・講演会等を開催する。なお、トークイベントの様子は、必要に応じてYouTube 財団公式チャンネルで動画配信する。

・ オンラインを活用した情報発信

X（旧 Twitter）、Instagram、TikTok のギャラリー公式アカウントを用い、展覧会やグラフィック文化の魅力を伝える動画、画像、記事などのコンテンツを配信する。また、デザイナーにとどまらず、編集者や研究者等、グラフィック文化に係るさまざまなゲストを招いて話を聞く音声番組の配信を継続する。

・ 子供向けワークショップ

ギンザ・グラフィック・ギャラリー、京都d d dギャラリーにて、グラフィックデザインに関する子供向けワークショップを開催する。成果は財団ウェブサイト、SNS ギャラリー公式アカウント等で公開する。

4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款第4条(5)】

- ・ 国際交流基金や海外の美術館等に協力し、日本のグラフィック文化を紹介する展覧会開催を継続する。
- ・ ポスターを収集している海外の美術館等に対し、ポスター寄贈を継続する。
- ・ デザイナーの国際組織である国際グラフィック連盟（AGI）日本事務局サポートの一環としてAGI総会に参加し、海外作家との情報交換を行う。

・ AGI総会

令和7年11月にベトナム（ホーチミン）にて開催が予定されているAGI総会に、日本人会員事務局として財団職員を派遣する。

この他、世界各国作家との交流及びグラフィックデザイン界の情報収集を、引き続き行う。

5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条 (7)】

- ・ グラフィック文化に関する学術研究助成を行う。
- ・ 福島県須賀川市で開催される田善顕彰版画展への協賛を継続する。

・ グラフィック文化に関する学術研究助成

募集テーマ：

A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間： 令和7年4月1日～6月16日まで

助成対象： 研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

選考： 一次審査（申請書類による書類審査）、二次審査（9月開催予定の審査委員会）により、令和7年度採択研究を10件程度選考する。また、令和6年度採択研究のうち継続助成予定の研究について、継続助成の可否を審査（書類審査）する。

スケジュール：

4月 募集開始

6月 応募締め切り

7～8月 一次審査

9月 二次審査

10月 令和7年度審査結果の発表

12月 継続助成の審査、助成金の交付

・ 福島県須賀川市で開催される文化事業への協賛（予定）

対象	主催	年月	金額	備考
第36回田善顕彰版画展へ協賛	須賀川商工会議所青年部	2026/2	50,000円	須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善顕彰を目的とする、須賀川市内小中学生対象の版画コンクール。例年継続。

以上